

## 研究課題「妊娠高血圧症候群の新規発症予知マーカーの開発」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2013年11月1日から2016年8月31日に当院で胞状奇胎の処置を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は、東京大学を主任施設として当院との共同研究として行われます。胞状奇胎は、胎盤を構成する絨毛の異常に起因する絨毛性疾患で、放置された患者さんの大部分は妊娠早期からPIHを発症することが知られています。PIHの発症前の状態である胞状奇胎の患者さんを調べることで、PIHの発症前に変化をきたす新たな因子の同定を目指します。当院で、上記の期間で処置を受けられた胞状奇胎の患者さんで、研究課題「胞状奇胎患者に対する子宮内容除去術施行回数変更の検討」において提供を受けた血液を用います。また、上記の期間で、病理組織検査を受けられた患者さんの病理標本を用います。これらの試料は、東京大学で解析をされます。

具体的には、PIHの発症に関与することが知られている、Soluble fms-like tyrosine kinase-1 (sFlt-1)などの血管新生関連因子、アンギオテンシンⅡ1型受容体に対する活性化型自己抗体、TNF- $\alpha$ やLIGHTなどの炎症性サイトカインの濃度や発現の状態を解析します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、妊娠週数、組織型、続発症の有無、hCG値など

試料：血液、病理標本

上記の試料・情報は上記2.に記載した研究目的および利用方法で使用します。また、下記の方法で東京大学へ提供します。

### 4. 外部への試料・情報の提供

東京大学への情報および試料の提供は、個人が同定できる情報を適切に削除した上で行います。対応表は、本学の個人情報管理者（名古屋大学医学部附属病院産科婦人科、助教、新美薫）が保管・管理します。

### 5. 研究組織

東京大学医学部附属病院女性診療科・産科・助教・入山 高行

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とせず、東京大学への提供および利用を停止しますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

下記の研究責任者までお願いします。

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話：052-744-2261(直通) ファックス：052-744-2268

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻発育・加齢医学・講師・小谷友美

研究代表者：

東京大学医学部附属病院女性診療科・産科・助教・入山 高行